

日本オリエンテーリング協会ディレクター講習会 2016年2月27-28日 埼玉県熊谷市

ディレクター講習会が、数年ぶりに開催された。オリエンテーリングについて深く考える濃密な時間を過ごすことができた。

2016年2月27-28日(日) 埼玉県熊谷市
オリエンテーリングディレクター講習会



参加者が作ったコースについて、みんなで検討し、よいコースとはなにか、あるいはエイジクラスにふさわしいコースはどのようなものか、を検討する

もっといいコースを

静岡県のトレインの地図を扱っている関係で、我が家には多くのクラブからの合宿地図印刷の依頼が来る。時々、コース図を見る機会があるのだが、テキストなコントロール位置をただ線で結んだだけのように思えるコースを見ることが少なくない。合宿のコースに限らず、大会のコースでも、もっとトレインを生かすコースが組めると感じさせる大会は少なくない。

大会では会場の制約で必ずしもベストなコースが組めるとは限らないが、もう少し工夫の余地がありそうだ。日本では、森でオリエンテーリングの練習をする機会は限られており、大会に出ることで技術習得を図ることが少なくない。そう考えるとき、選手のレベルに応じた適切なコースを大会が提供し、また参加者もそれを理解して臨んでこそ競技スポーツとしての健全な発展がある。コースだけに限っても、健全な発展の基盤が不十分だと感じられる。

指導者制度

ここで、日本オリエンテーリング協会の指導者制度について、簡単に触れておこう。日本にオリエンテーリング

が根付き始めた1970年代から、指導員は1級から3級の3段階に分かれていた。

それが平成10年に文部科学大臣認定の野外活動指導者(オリエンテーリング)資格として再編された。その時、3級に対応するものとしてインストラクター、2級、1級に対応するものとしてディレクター2級、同1級の資格制度となった。

インストラクターはその名の通り、初心者に対してオリエンテーリングの指導ができる指導者、ディレクターはクラブや大会の運営を統括(ディレクト)できる指導者という位置づけである。ディレクターとはやや耳慣れない言葉だが、キャンプを中心とする野外活動で、プログラムを提供したり、全体を統括する責任者がディレクターと呼ばれてきたことの名残だと思われる。

この意味で、オリエンテーリングの指導者資格は、他の競技スポーツとはやや異なっている。他のスポーツでは、通常指導者の上に競技スポーツを極める指導者としての「コーチ」が位置づけられている。オリエンテーリングでは、初心者を指導するインストラクターの上にあるのは競技者の養成者ではなく、大会・クラブの運営を円滑にするための指導者なのである。これは、今後競技スポーツとしての発展を図る時に、議論的になる点であろう。

今回の講習内容

今回開催されたディレクター講習会(1級、2級)は、上記の枠組みに基づき、大会やクラブなど組織的活動を指導できる指導者要請を目的としている。講習の内容は、コースプラン、初級者へのPR方法やその内容、オリエンテーリングにおけるリスク管理と法的責任、クラブの課題と解決のための実践、コースチェックであった。

たとえばコースプランでは、与えられた地図と会場に対してエリートのミドル競技のコース、M15、M50のコースを組むことという宿題の元に、どんなコースをどんな考え方で組んだのかを参加者同士がディスカッションする形式で行われた。また関連する規則や考え方が講師から紹介された。あるいは、リスク管理と法的責任では、参加者の

ブレインストーミングで、大会開催に伴うリスクを指摘した後、それに対してどのようなリスクマネジメントが行われているか、課題はどこにあるかを議論した後、講師が野外スポーツの裁判事例などを紹介しながら、大会主催者の法的責任、参加者が担うべき責任についての議論が行われた。

コースプラン、リスクマネジメントのいずれについても、経験豊かな参加者にとっても「目新しい内容や気づきがあった」といった感想が聞かれた。特にリスクマネジメントや法的責任については、リスク対応についての目が厳しい昨今、オリエンテーリングの大会は甘いところがあるのではないかと、組織としての対応や啓発を進める必要があるといった意見も出された。

講習を担当した講師としても、経験豊かな参加者とのディスカッションは有意義であり、気づきの多いものであった。また、今回取り上げたようなオリエンテーリングの根幹に関わる内容についてスタンダードを提供すると同時に、先端の指導者とそれらについて議論することで新たな考え方や方法を確立し、それを広めていくことは、組織の運営の根幹だと改めて感じることができた。来年度以降は、改訂後10年以上が経過し、制度の変更も検討されている。より多くの人がより楽しく安全なオリエンテーリングを提供するための知識やスキルを、講習会を通じて習得されることを期待したい。



参加者からの意見を元にオリエンテーリング大会のリスクやそれに対するリスクマネジメントの方法をまとめる。現在の大会の安全上の課題なども明らかになる。今後の安全管理という点からも、有意義な講習である。

(村越 真)